

人口減少社会への対応について

(質問) 本市都市周辺部からの市外および市内都市部への人口流出対策、18歳人口の流出対策ならびに土地利用を含めた地域課題解決や地域ビジョンを描くことを共に考える市の部局は。

(答弁) 若者の市内雇用に向けチーム鈴鹿で取り組むとともに、人口減少対策、子育て支援、DX推進をプロジェクト事業としてパッケージ化し市内外にプロモーションする。地域ビジョンを描く際には、課題の特性に応じて地域振興部、関連部局が連携し対応する。

その他の質問 ○質の高い公共サービス提供のための人材の確保



デジタル時代の子どもの最善の利益

(質問) 子どものインターネット利用率の増加が著しく、いじめやトラブルの起因となっている。子ども達が最善の利益を得るため、問題の防止と安全を守る対策について問う。

(答弁) インターネット上の問題について学校内だけでは対応できない場合が多いため、教育委員会や警察などと連携しながら対応できる組織体制を整備している。学校においては「未然防止・早期発見・適切かつ迅速な対応」の3つの局面において取り組みを進めている。

その他の質問 ○シニア世代の社会参加と活躍 ○災害関連対応の備え



液状化への対応

(質問) 鈴鹿市は縄文海進の影響で、砂や砂礫の地盤が広範囲にわたる。鈴鹿市の液状化への現状認識を問う。そして今後の地盤改良などへの補助制度の創設を提言する。

(答弁) 液状化の危険性周知は重要で、市ウェブサイトには液状化危険度マップを掲載するほか、地理情報で液状化危険度の詳細を調べられる。液状化への対応は重要であるが、市民の生命を守ることを最優先に考え、まずは、旧耐震基準の木造住宅の耐震化に取り組む。

その他の質問 ○鈴鹿市考古博物館と大鹿氏 ○子どもの医療費の助成に係る付加給付



各委員会での主な議案審査状況、討論および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画(YouTube)をご覧いただけます。

